

Q (質問)	A (回答)
<p>留学に行ってみたくて思っているが、英語が苦手で、留学に自信がない。</p>	<p>これまでも英語が得意ではなくても、トビタテ！で海外に留学した先輩はたくさんいます。自分の得意なことやちょっとしたアイデアできっかけを作り、コミュニケーションをとって楽しんでいる人もいます。留学したい気持ちに素直になって考えてみてはいかがでしょうか。留学というチャレンジが、さらに新しい世界が広がるきっかけとなるでしょう。</p>
<p>留学計画はどのように作成したらよいか。</p>	<p>まずは、なぜ留学したいのかを明確にしましょう。 興味・関心をもっていることは何か、行ってみたい国、経験したいことは何か。なぜそのように思うのかなどを整理してみましょう。 次に、ゴールを設定しましょう。大きなゴール（将来の夢）でも小さなゴール（留学で実現したいこと、帰国したらどんな自分になっていたいか）でも構いません。 最後に、設定したゴールに辿り着くために、何をすべきかを考えてみましょう。どのような探究活動を行うと、ゴールに辿り着けるか考えてみましょう。</p> <p>留学大図鑑を利用し、先輩トビタテ生の留学体験をぜひ参考にしましょう。留学概要に加え、先輩たちが体験した悩みや解決方法についても掲載されています。留学地域やテーマからの検索も可能です。気になるテーマや行きたい国をキーワードにして、まず先輩の留学体験を参照してみましょう。</p> <p>・留学大図鑑 https://tobitate-mext.jasso.go.jp/zukan/</p> <p>留学は生徒の皆さん自身が行うものです。留学計画書には、なぜ留学したいかの思いとそれを実現するための計画について、自分の言葉で表現してください。</p> <p>なお、本事業が支援する留学計画は、在籍学校等が教育上有益な学修活動と認める計画であることが要件です。ついては、留学計画の内容を担当の先生に確認してもらった上で手続きを依頼してください。</p>
<p>受入先機関の所在地が、外務省「海外安全ホームページ」の危険情報及び感染症危険情報の「レベル2：不要不急の渡航は止めてください。」以上に該当する地域ではないことが要件だが、「レベル2」の地域を含む国であっても、「レベル2」に該当していない地域の受入先機関であれば問題ないか。</p>	<p>ご認識のとおりです。 ただし、留学開始時点又は留学中に「レベル2」以上となった場合は、原則、奨学金の支給対象外となりますのでご注意ください。常に最新の情報を取得の上、ご検討ください。</p> <p>・外務省 海外安全ホームページ https://www.anzen.mofa.go.jp/</p>

Q (質問)	A (回答)
課税証明書の必要項目について	生計維持者全員分の課税証明書が必要です。 課税証明書には以下項目の記載が必要です。 注) 自治体により、標準では記載のない項目がある場合がございます。発行申請の際にご確認ください。 ・ 課税標準額 ・ 調整控除額
ホームステイでの滞在は可能か。	滞在先としてホームステイを利用いただくことは可能です。ただし、受入先機関とすることはできません。 参考) 募集要項 p.18